

# 手術（ポリープの内視鏡的切除術）について

## 1. ポリープを切除する目的

大腸ポリープとは、大腸粘膜にできたイボのように盛り上がった病変のことです。ポリープには癌に成りやすい腺腫と癌に成りにくい非腺腫性ポリープがあります。また、ポリープのごく一部に癌になっていることもあります。しかし肉眼的にはその区別が困難です。そこでポリープが見つかったら切除することが望まれます。

そして、切除したポリープを顕微鏡で調べ良性か悪性か、またその程度を診断します。（病理組織診断）。良性もしくは極めて早期の癌であれば治療も完了します。もし、癌の程度がやや進んでいたり、病理診断によっては、根治の目的で開腹手術が必要となることがあります。

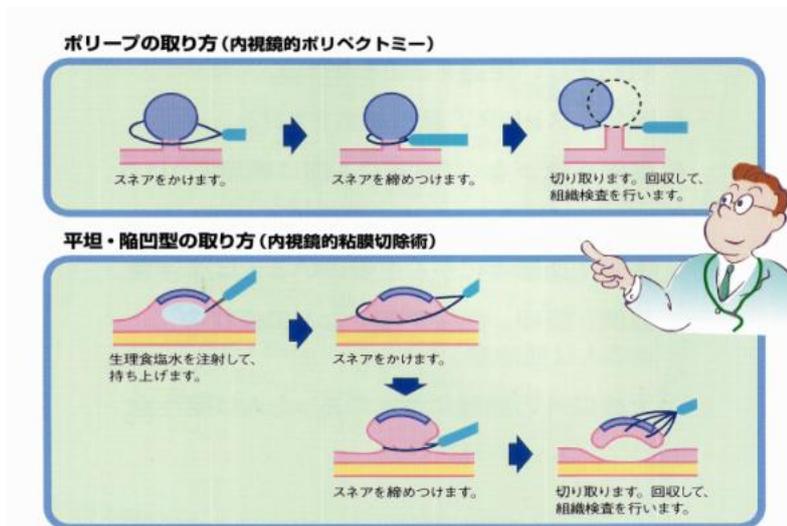
## 2. 手術（内視鏡的大腸ポリープ切除術）の方法

①ポリープが小さいなら、コールドポリペクトミーと言ってジャンボ鉗子にて通電せずにかじり取ります。負担が少ないので2～3日の安静で終了します。

②やや大きいポリープは内視鏡を通して、ワイヤーをポリープに輪投げのようにかけて、電気メスで焼き切ります。術後は潰瘍を形成しますので2週間ほどの安静が必要です。

ポリープの部位や大きさによっては、取り残しや出血・腸穿孔などの偶発症（約0.2%）の危険があり、入院加療が必要になる場合があります。手術の目的とともに偶発症についてもご理解下さい。

- ・ 5mm未満…生検（手術ではありません）
- ・ 5mm～7mm程度…手術（コールドポリペクトミー）
- ・ 8mm～1cm程度…手術（内視鏡的大腸ポリープ切除）
- ・ 1cm以上…入院又は外科的手術



## 3. 生検とは

ポリープの一部や小さいポリープ全部を鉗子でかじる方法です。これは手術ではなく検査の一つです。

**保険会社の手術給付の対象ではありません。**

## 4. 手術費用について

費用は3割負担の方で3万円程度かかります。

（検査費用が会社負担の方は治療ですので個人負担になります。）

生命保険にご加入の方は手術の給付金が受けられる場合がありますので担当の方にご確認ください。尚、適用になる場合は診断書をお書き致しますのでお申し下さい。